

補助事業番号 28-4-007  
補助事業名 平成28年度 実態調査、現在・将来にわたるニーズ調査活動補助事業  
補助事業者名 法政大学現代福祉学部教授・宮城 孝

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

東日本大震災から5年が経ち、仮設住宅からの本格的な移転期に入った岩手県陸前高田市の仮設住宅団地における居住者の暮らしの状況、団地コミュニティの状況、今後の意向などについて調査し、その実態を周知するとともに、今後も長期に居住せざるを得ない居住者への支援のあり方について検討する。

### (2) 実施内容

6年目を迎えた陸前高田市における仮設住宅の暮らし実態調査

(<http://www.rikuzentakatapj.jimdo.com>)

陸前高田市内・外の仮設住宅の自治会長への6回目のインタビュー調査を実施し、45ヶ所から回答を得た。また、仮設住宅居住者への「仮設住宅の住まいと暮らしに関する第2回意向調査」を、2013年に続いて実施し、334世帯(回答率38.6%)から回答を得た。

これらの結果を報告書としてまとめ、広く関係者に送付し、長期化する仮設住宅における暮らしの状況について広く周知するとともに、支援のあり方について提起した。



模型を使って地域の再生について語る  
住民リーダー



現地報告会で感想を語る調査員の学生

## 2 予想される事業実施効果

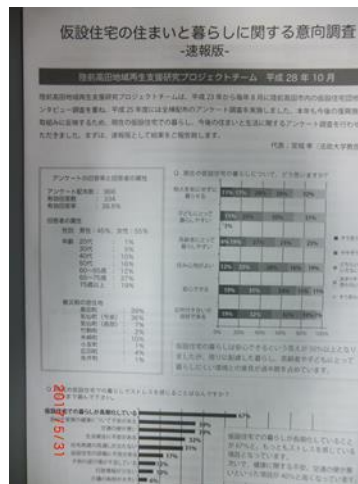
仮設住宅の自治会長へのインタビュー調査においては、各地域の仮設住宅団地の状況や今後の見通しなどについて、地域的な違いや各団地の状況が把握できた。さらに、「仮

設住宅の住まいと暮らしに関する第2回意向調査」においては、仮設住宅居住者の今後の意向や生活上の不安などを把握し、分析し結果をまとめた。これらの調査結果を報告書としてまとめ、行政や市議会、各支援機関、地元メディアに送付し、長期化する仮設住宅における暮らしの状況や課題について周知するとともに、今後の支援のあり方について提起することによって、被災地支援の一助とすることができた。

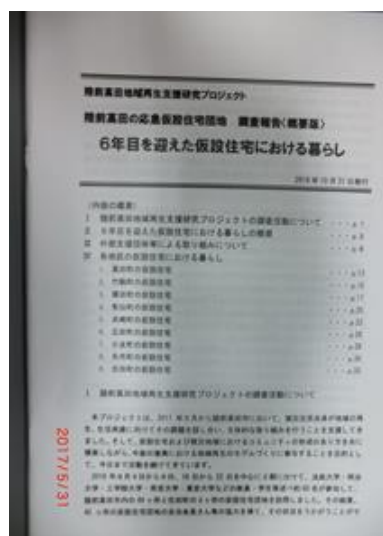
### 3 補助事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

「仮設住宅の住まいと暮らしに関する意向調査 - 速報版 -」



「陸前高田の応急仮設住宅団地 調査報告〈概要版〉6年目を迎えた仮設住宅における暮らし」 <http://www.rikuzentakatapj.jimdo.com>





「陸人 RIKUN-000 私たちが提案する米崎・広田の魅力！」



#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 法政大学（ホウセイダイガク）

住 所： 〒194-0298

東京都町田市相原町4342

代 表 者： 教授 宮城 孝（ミヤシロ タカシ）

担 当 部 署： 現代福祉学部

担 当 者 名： 教授 宮城 孝（ミヤシロ タカシ）

電 話 番 号： 042-783-2835

F A X： 042-783-2824

E - m a i l： miyasiro@hoseiac.jp

U R L： <http://www.rikuzentakata.jp.jimdo.com>